

先週の回答

精神統一



青空にそびえ立つ白い巨塔、東京は下町の隅田川医科大学付属総合病院。広いエントランスの待合室のソファアールは今日もあふれるばかりの患者（年寄りばかり）の社交サロンと化している。

「おヨネさんどうしたのかしら？ 顔が見えないけど」
 「風邪でもひいたんじゃないの」
 「風邪は万病のもとだから」

西館3階の精神科手術室の窓から射し込む春の日射しを浴びて、精神科主任の名札を胸にした白衣の金縁メガネが、「出来たかね？」
 「まだです」
 「一切の雑念を払って、ココロを無にす

る。それが出来なければ精神科医はととまらん」

うつむき加減の精神科女医の名札をつけた若い女医におごそかに語りかけた。

「きみは精神科医だよ」
 「わかってます」
 「だったら精神統一したまえ。精神科医が精神統一出来なくてどーする！」
 「精神科医だけが精神統一するのはおかしいんじゃないですか。内科も外科も産婦人科の耳鼻咽喉科も泌尿科もすべきじゃないですか」
 「精神統一はまず精神科からって言うだろう」
 「聞いたことありません。だいたい精神統一して何になるんですか、主任」

「精神を統一しなければ天下は統一できない」
 「あたくし織田信長じゃありませんから、天下統一しなくてもいいんです」
 「おろか者！ 天下統一しなかつたらこの病院も統一がとれなくなるじゃないか。天下でいちばん偉いわしの言うことがきけんのか」
 「バカ言ってるんじゃないわよ。いちばん偉いのはあたくしよ！」
 「何をぬかす！」
 「きみたち何をしてるんだ、こんなことで！」

と、手術室に入ってきた精神科主任教授を精神科女医が声を荒げた。
 「速く病室に戻りなさい」と、看護婦が二人の患者を精神科病棟に連れ戻した。



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。